

IZUNO LIBRARY LETTER 11

出農図書館で「魂を耕す本」との出会いを

図書委員のおすすめ本

『たったひとつの冴えたやりかた』

ジェイムズ・ティプトリー・ジュニア 著 浅倉久志／訳 早川書房

この本は、3篇からなる人類と地球外生命体の関わりが描かれた本です。本を読み進めていくうちに、言葉やコミュニケーションは大切だと感じました。3篇に共通するのは死の選択があることです。16歳の少女が最後に選んだ冴えたやりかたと結末は悲しいのに、最後まで悲観していないところや周りを気遣える姿がとても印象に残りました。(動物2年)

『猫が食べると危ない食品・植物・家の中の物図鑑』

服部幸／著 ねこねこ

誤食と中毒からあなたの猫を守るために』

猫好きや猫を飼っている人に、ぜひ読んでほしい本です。猫が食べてはいけない意外なものがたくさんあり、知っておくだけで危険な目に遭わずに済みます。私も知らずにあげていた食べ物がありました。猫を飼っている人は読むべき本だと思いました。(動物2年)

『青のオーケストラ』

阿久井真／作 小学館

ある理由でヴァイオリンを辞めた天才少年青野。中学3年で少女・秋音と出会ったことで青野は再びヴァイオリンに向き合い始め、高校のオーケストラ部に入部。新たなライバル佐伯も現れ、成長していく物語。吹奏楽など音楽をやったことのある人は共感する部分が多いはず！ そんな「あるある」を見つけてみてください。(動物3年)

あなたのおすすめ本は
何ですか？

おすすめ本の
投稿はこちら



おすすめ本をコメント付きで投稿するとオリジナルブックカバーなど素敵なプレゼントがもらえます↑

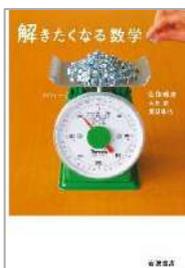
新着図書 PICK UP!



出農図書館の本の検索・予約はこちらから→



皆さんからの本のリクエストも受け付けています！



『解きたくなる数学』

佐藤雅彦 大島遼 廣瀬準也／著 岩波書店

「ピタゴラスイッチ」制作メンバーによる数学問題集。数学の本なのに開いてみるとチョコレートやケーキが……。解きたくなるポイントは一目で問題の意味がわかる写真にあります。問題は全部で 23 問。解説もわかりやすいです。クイズ感覚でチャレンジしてみてもいいかもしれません。



『眠れぬ夜はケーキを焼いて2』

午後／著 KADOKAWA

出農生に今年一番読まれているコミックエッセイの第 2 弾！「真夜中にジャムを煮る話」「早起きした朝にパンケーキを焼く話」など、お菓子やごはんのレシピのほか、マスクケースやマスクストラップの作り方も載っています。読んでいくうちに心のもやもやが晴れていくような、おすすめの一冊です。

おすすめ本はまだあります。新着図書リストもチェックしてみてくださいね！

最近のリクエストで入った本

『15 歳のテロリスト』 松村涼哉／著 KADOKAWA

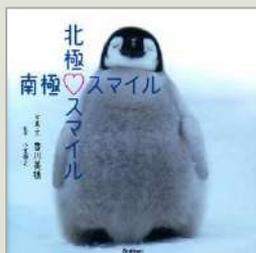
『ヴァイオレット・エヴァーガーデン エバー・アフター』 暁佳奈／著 京都アニメーション

『閃光のハサウェイ』 富野由悠季／著 KADOKAWA

1000 冊の電子書籍が読み放題！

School e-Library で読んでみよう！

スクールイーライブラリーについて、本校の生徒・教職員は誰でも利用できます。利用を希望する人は図書館でアカウントカードを受け取ってください。



『北極スマイル・南極スマイル』

香川美穂／著 学研プラス

雪や氷のきびしい自然に生きる北極圏や南極圏の動物たちが全 26 種掲載されています。ホッキョクグマの親子、エンペラーペンギンの子どもなどふわふわな動物たちに心癒されます。写真がたっぷりなので、電子書籍で読むのにおすすめの一冊です。

編集後記

図書館では期末試験最終日の放課後にクリスマスの飾りつけをします。興味のある人は参加してみてください♪ 12月の図書館はクリスマス気分を味わいつつ、本との出会いを楽しめる場所になるといいなあと思っています。いろいろなプレゼント企画もあるので、次号の便利もお見逃しなく！